

# 1. 2006 年度 事業報告

期間：2006 年 7 月 1 日～2007 年 6 月 30 日

## 1. 全 体

### (1) 2006 年度の方針

2006 年度は、同年 3 月まで 4 年間行ってきた「生きがいしごとサポートセンター事業（わーす）」（しみん事業サポートネットワーク<SBSN>として）の終了を受け、事業・財政両面での再構築が急務であった。常勤 3 名＋パート、ボランティアという体制の下、3 つの柱、すなわち 1) NPO 支援（共同オフィスの運営を含む）、2) 調査研究・アドボカシー、3) みみずく舎の 3 本柱が多すぎるのは否めなかったが、柱を減らすことはせず、事業を絞り込むとともに採算の取れる事業の開発を急ぐとした。

2006 年度単年度での黒字回復は無理には求めず、事業開発と中長期的な事業構造の確立、そして事務局体制の再構築を最優先に位置づけた。

### (2) 2006 年度の総括

<2006 年度は（1）方針の再構築とそれに伴う事業の重点化、新規事業のための先行投資、（2）みみずく舎の離陸支援、に大きな資源を傾注した>

事業の 3 つの柱（NPO 支援／調査・提言／みみずく舎）を削らないという方針は現体制から見て多少の無理はあったが、各領域の中で事業を絞り込むことで乗り切ってきた。

みみずく舎については、創業 2 年目、本格営業として見れば実質 1 年目の今年度を勝負の年と位置づけ、早期の離陸（黒字化）へ向けて全力を挙げた。その甲斐あって、2006 年度末（2007 年 6 月）時点ではまだ黒字化は達成していないが、順調に成長を続けている。

みみずく舎以外の事業については、①調査研究ほか情報収集・分析の強化、②ネットワークの強化（ひょうご市民活動協議会＝HYOGON など）、③共同オフィスの採算化、に特に力を入れた。情報収集は今後の活動方針の策定に大きく寄与し、また、HYOGON をはじめとするネットワークの再活性化を意識的に進め、KEC／みみずく舎が再び NPO に関する人と情報の交流拠点として活性化してきた。秋毎ビル 3 階の共同オフィスについては、4 月によりやく採算ラインを超えたほか、6 月には「神戸元町 NPO ポート」と名付け装いを新たにした。

方針再構築については、NPO の現状についての情報収集をもとに理事会等で議論を重ねた末、『市民活動を支える仕組みづくり』を主とし『直接・個別の NPO 支援』を従とする」という方針を年度末に立てた。

一方、予定した事業のうち情報発信（みみずく・メールニュース等の発行）がきわめて不十分であった。会員数が大きく減った理由もそこにあったと推測される。情報発信機能をいかに強化していくかが今後の大きな課題である。

## 2. 事業

### 目次

#### < 1、運営相談および人材育成事業 >

##### 1-1 相談事業

- (1) NPO 経営・起業相談
- (2) NPO 法人化相談事業 (ひょうごボランティアプラザ委託)

##### 1-2 研修事業

- (1) 環境 NGO のための組織マネジメント講座事業 (地球環境基金委託)
- (2) その他の研修事業

##### 1-3 NPO 等育成アドバイザー派遣事業 (神戸市委託)

#### < 2、情報提供事業 >

##### 2-1 復興・市民活動情報誌「みみずく」発行

##### 2-2 KEC WEB

##### 2-3 会員向け情報提供サービス

##### 2-4 その他の情報提供事業

- (1) 「ひょうご CSO サイト」 (「ひょうご CSO 名鑑」Web 版) の運営、更新
- (2) サンケイリビングへの情報提供

#### < 3、交流および協力関係の促進事業 >

##### 3 サロン事業

#### < 4、講師派遣および研修コーディネート事業 >

##### 4 学び支援 (講師派遣) 事業

#### < 5、調査研究、政策提言 >

##### 5-1 社会的企業に関する調査事業 (日福大 CEO 研究)

##### 5-2 その他の調査研究

- (1) 障害者小規模作業所の商品販売・開発支援調査 (日本財団助成)
- (2) 市民活動を支える「民間」社会資源の開発事業 (日本財団助成)

##### 5-3 他団体・機関の調査研究への参加

- (1) NPO 共同オフィスのあり方に関する国際調査研究 (事務局=関団協)

##### 5-4 政策提言活動

#### < 6、事務局受託事業 >

##### 6-1 ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) 事務局

##### 6-2 しみん事業サポートネットワーク (SBSN) 事務局 (7月で終了)

##### 6-3 尼崎市民懇話会ファシリテーター事務局

#### < 7、その他の事業 >

##### 7-1 ネットワーク活動・他団体の役員就任、各種の会議・研究会等への参加

##### 7-2 NPO 共同オフィスの運営ならびにみみずく舎の運営協力

- (1) NPO 共同オフィス (3階) 運営事業
- (2) 有限会社みみずく舎の業務委託事業

##### 7-3 インターン等受け入れ事業

- (1) 兵庫県・県職員「ボラターン」研修の受け入れ

##### 7-4 能登半島地震 被災地支援事業

## < 1、運営相談および人材育成事業 >

### 1-1 相談事業

#### (1) NPO 経営・起業相談

相談事業の定例化・有料化を図ろうと、ひょうごボランティア基金の中間支援助成（06.7～07.3）を得て整理、集約を行った。結論的にはあまり有料化はできていないが、最近になってアポなし相談は低減、ワンコイン相談への誘導は一定の効果を上げている（ただし電話などでの「ちょっと教えて」は相変わらず多い）。

相談事業は「不採算だが必要な事業」と位置づけるほかなく、上手に一定の曜日・時間帯に集約する、委託事業であるアドバイザー派遣事業（1-3参照）に誘導する、などの工夫を続けていきたい。

（担当：八十、実吉）

※下表は助成期間（06/7月～07/3月）の実績

	日程	料金	対応者	実績	主な内容
有料相談	随時	会員 1000 円/h 非会員 2,000/h	今田 実吉 八十	28 件 うち出張相談 8 件	助成金申請、法人化・定款変更、会計・労務、事業への助言、等 出張相談を含む
ワンコイン相談	毎月第1・第3水曜 (11月～。 2月～毎週に 拡大)	ワンドリンク+資 料代 500 円/1 時間	八十	個別相談 3 件 (合同相談は下記 NPO カフェ・資金 づくり講座として 実施)	・法人化、定款変更、総会運営、決算報 告、登記事務 ・アイデアの実現化、活動の事業化につ いて ・会計、労務の初歩 → 専門家 (社会保 険労務士) の紹介
NPO カフェ (合同相談として)	毎月最終土曜 (9-12月)	ワンドリンク+資 料代 500 円/1.5 時間	八十 実吉	9～12 月、計 4 回 実施 のべ 7 人参加	NPO に関する基本的知識のレクチャ ー、質疑応答 集合形式・少人数・気楽に
資金づくり講座 (合同相談の発 展形として)	2 回講座 ( 10/18 、 24)	1,500 円/各回 2,000 円/2 回	講師： 今田 森田	2 回のべ 28 人参加	① 入門編～NPO の資金色々 申請のポイント、等 ② 実践編～実例に基づき比較検討
無料相談	随時	—	八十 実吉	面談 143 件 電話・メール 118 件	NPO に関するあらゆる内容

#### (2) NPO法人化相談事業（HVP委託）

07年3月まで月2回（各4コマ/日）、4月以降月1回（同）に。12ヶ月間（総コマ数84）で相談件数36。

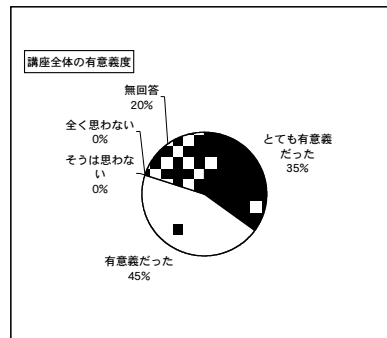
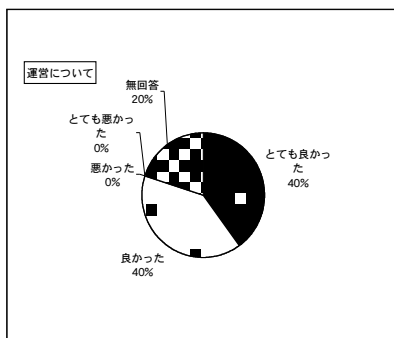
（担当：今田理事、実吉、八十）

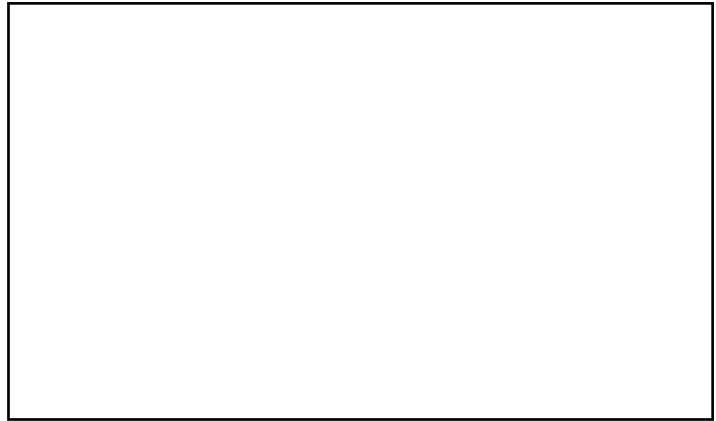
### 1-2 研修事業

#### (1) 環境NGOのための組織マネジメント講座事業（地球環境基金委託）

12月2、3の両日、環境分野を中心とするNPOスタッフを対象としたマネジメント講座を実施。参加者のべ23名、終了後のアンケートの満足度は高かった。

（担当：実吉、八十）





熱心に行われたグループワーク (06.12.2-3)

## (2) その他の研修事業

12月14日 「Our Planet TV・エンコードセミナー」

映像で情報発信をするための技術を学ぶ。参加者9名。(担当：前川大)

2月20日 インドネシア・PKPM(市民社会の参加によるコミュニティ開発)プロジェクト報告

(担当：中田理事長)

その他、「1-1相談事業」から派生したものとして、「NPOカフェ」「資金づくり講座」を実施した。(前ページ1-1の表参照) (担当：八十)

### 1-3 NPO等育成アドバイザー派遣事業(神戸市委託、事務局=(特)神戸まちづくり研究所)

中田アドバイザー：(特)福祉ネットワーク西須磨だんらん、(財)PHD協会

八十アドバイザー：(特)オープンエア、朗読ボランティアグループ花いかだ

実吉スーパーバイザー：ケース検討に参加

各3~8回程度訪問し(一部来訪等)、人材増強、ファンドレイジングの面から課題解決と組織強化のお手伝いした。ケース検討などアドバイザーの会議も7回実施、支援の方法についての検討と切磋琢磨を行った。(担当：八十)

## <2、情報提供事業>

### 2-1 復興・市民活動情報誌「みみずく」発行

発行の体制を組めず、臨時号(10/31付、6頁立て)の1号のみにとどまった。(担当：八十)

### 2-2 KEC Web

KECの主催行事を中心に随時更新した。ただ、「NPOに役立つ情報の体系的な提供」まではできておらず、こちらも責任ある編集体制づくりが課題である。

### 2-3 会員向け情報サービス

メール・ファクスにより、物品提供や利用できる制度（アドバイザー派遣事業、サンケイリビング誌NPO情報欄等）、KECの行事案内などのお知らせを数度行ったが（配信先最大約1200件）、メールアドレスの整理はまだ途上で定期発行までは至らず。

## 2-4 その他の情報提供事業

### (1) 「ひょうごCSOサイト」（「ひょうごCSO名鑑」Web版）の運営、更新）

CSO名鑑Web版について、サイトの管理と必要最小限の情報更新を行った。

### (2) サンケイリビングへの情報提供

07年3月まで：月1回、ボランティア募集情報3～4件を提供。

07年5月～：月1回、NPO関連情報（ボランティア募集、参加者募集等）3件を提供。

（担当：前川大→八十）

## < 3、交流および協力関係の促進事業 >

### 3 サロン事業

10月21日 みみずく舎オープン1周年記念・市民活動交流会（みみずく舎と共催）

ミニ講演・ゲスト：松原明理事「会員や寄付を増やす『攻めの情報公開』とは」

参加者34人

その他、HYOGONやみみずく舎の主催では交流のための企画がいくつも催された。

（HYOGON主催） →次ページ（6-1）参照

（みみずく舎主催）

9/14、11/17、1/26、3/23、5/25 カフェ放送てれれ

6/22 キャンドルナイトLIVE

（その他＝場所提供、開催協力）

1/14 学童保育連絡会・けん玉大会

2/4 震災まちのアーカイブ・アーカイブカフェ

3/16-20 もとまちハートミュージアム

4/21-23 インフィオラータ

（担当：実吉）



## < 4、講師派遣および研修コーディネート事業 >

### 4 学び支援（講師派遣）事業

講師派遣 19件（2日間のプログラム3件を含む）

渥美理事1件（＝全額を事務所へ）、実吉15件、八十3件（＝8割を事務所へ）

視察受入 7件

（担当：八十）

## < 5、調査研究、政策提言 >

### 5-1 社会的企業に関する調査事業（日本福祉大CEO研究）

社会的企業と呼ばれる事業のあり方を研究、その成功の秘訣を探る目的で、NPOや企業など10団体にインタビューを行った。KECは調査対象の選定と連絡調整を担当、共同で訪問・インタビューし、報告書は雨森会員が作成中。  
（担当：雨森会員、今田理事、実吉）

調査対象：（特）寝屋川あいの会（寝屋川市）、（特）フェリスモンテ（大阪市）、（株）FMわいわい（長田区）、（特）多言語センターFACIL（同）、（特）ブレーンヒューマニティ（西宮市）、（有）ビッグイシュー日本（大阪市）、（特）ワークレッシュ（大阪狭山市）、（特）アップストリーム障がい者支援センター（尼崎市）、（特）友ー友（豊中市）、新長田まちづくり（株）（長田区）

### 5-2 その他の調査研究

#### （1）障害者小規模作業所の商品販売・開発支援調査（日本財団助成）

みみずく舎の店頭業務を通じて得られるお客様の声を作業所に伝えたり、商品改善への助言を行い、よりよいもの・付加価値の高いものを製造・販売することを支援する。07年4月スタートで、4～6月は団体（取引先）との関係づくりが中心。

助成期間：07年4月～08年3月

（担当：和気）

#### （2）市民活動を支える「民間」社会資源の開発事業（日本財団助成）

人材や技術などさまざまな民間資源を市民活動に循環させるため、NPO側の実態とニーズ、企業など供給側のCSR活動等のニーズの両方を調査し、資源を開発、マッチングまで行いたい。今年度内はNPOの実態調査に着手したところまで。

助成期間：07年4月～08年3月

（担当：実吉）

### 5-3 他団体・機関の調査研究への参加

#### （1）NPO共同オフィスのあり方に関する国際調査研究（事務局＝関西国際交流団体協議会；正式名称「日米のネットワーク交流を通じたNPO共同事務所施設強化プロジェクト」）

国内各地のNPO共同オフィス事例の課題を共有、分析することを目的に、構成メンバーが分担しておもな共同オフィス運営者に実態調査を実施。またこれに先立ち5月に訪米調査を行ったがKECからは参加できず。構成メンバーは仙台、名古屋、大阪（関団協・ボランティア協会）、それに神戸（KEC）の5つの支援センター。  
（担当：実吉）

## 5-4 政策提言活動

11月14日「NPOフォーラムin兵庫～どうなるNPO法！？

～公益法人制度・NPO法・認定NPO法人制度～」

講師：松原明理事

ゲスト：東朋子さん（UN＝生きがいごとサポートセンター阪神南）

岡本碩也さん（福祉ネットワーク西須磨だんらん）

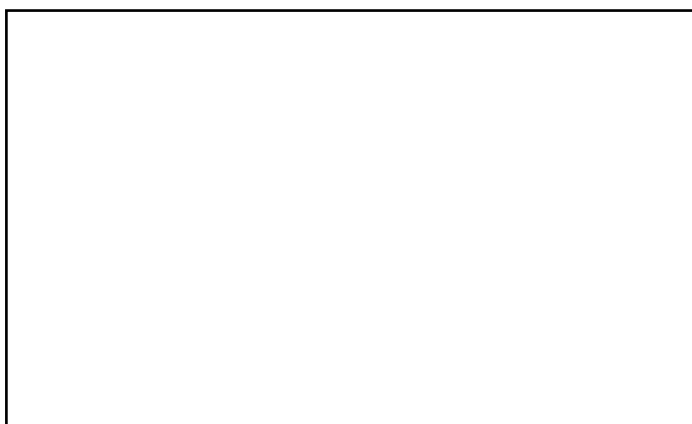
参加：58名

主催：HYOGON

共催：KEC、大阪NPOセンター、大阪ボランティア協会、関西国際交流団体協議会、  
宝塚NPOセンター、奈良NPOセンター、大和まほろばNPOセンター  
NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会

事務局：KEC

公益法人制度改革のNPOへの影響や、認定NPO法人制度について学び、意見交換を行った。  
(担当：実吉)



関西一円から参加者が集まったフォーラム（06.11.14）

## < 6、事務局受託事業 >

### 6-1 ひょうご市民活動協議会（HYOGON）事務局

昨年度の後半は開店休業状態であったが、今年度は事務局体制を回復し、特に秋以降、ネットワーク活動を活発に行った。

(KECが中心に関わった主な活動)

○セミナー、フォーラム等

11/14 NPOフォーラムin兵庫～どうなるNPO法！？（前掲）

12/16 HYOGONバトルフォーラム「NPOとアドボカシー」 参加60名

○ワーキング・グループ

・HYOGON福祉ネット（仮称）

福祉系NPOが集まり、9月から毎月情報交換会。2月には愛知県知多半島に先進NPOの視察ツアーを行った（現地で雨森会員も参加）。

○交流会等

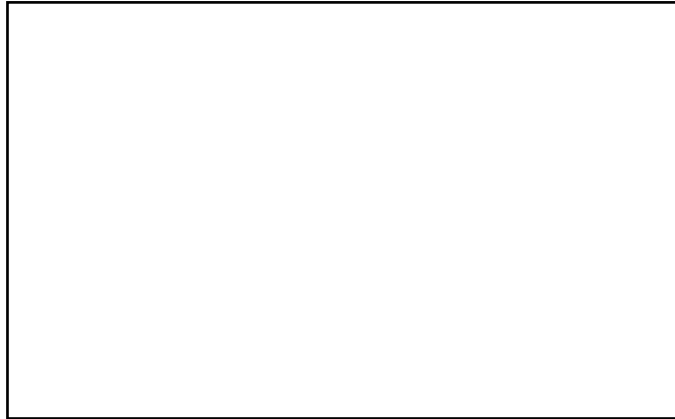
・1/11第1回の「HYOGON賀詞交換会」をみみずく舎で開催。参加約70名

・毎回運営委員会の後に交流会を開催。

○その他

・流量約1000通のメーリングリスト（3種計）を運営。

(担当：実吉)



みみずく舎が文字通り人であふれた賀詞交換会 (07.1.11)

## 6-2 しみん事業サポートネットワーク (SBSN) 事務局 (2006年7月で終了)

2006年7月の総会で解散した特定非営利活動法人しみん事業サポートネットワーク (SBSN) の総会事務ほか残余財産の処分、解散手続きなどの残務処理を行った。事務局業務は06年7月で終了。10月にすべての事後処理を完了し、法人清算が結了した。(担当: 実吉、八十)

## 6-3 尼崎市民懇話会ファシリテーター事務局

公募を含む30人の市民委員が06年7月から1年間をかけて市の財政再建に資する提言を行うにあたり、(株)創造と協働のまちづくり研究所から依頼を受けて八十がファシリテーターとして参加。全12回の会議でファシリテートおよび提言の文書化にあたった。(担当: 八十)

# <7、その他の事業>

## 7-1 ネットワーク活動・他団体の役員就任、各種の会議・研究会等への参加

各種のネットワークへの加盟や団体の役員就任等。2006年度は重点的に絞り込み、HYOGONおよび役員を引き受けている日本NPOセンター、ひょうごんテックへの関わりに極力集中した。

- (1) 団体としての会員加入 (個人名のものを含む)
  - ひょうご市民活動協議会/HYOGON (正会員) ; 事務局
    - ・ひょうごんテック/拓人こうべ/神戸復興塾/NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会/日本NPOセンター/シーズ
- (2) NPO同士のネットワーク・他団体の役員就任
  - ひょうご市民活動協議会/HYOGON (実吉が運営委員・事務局長)
  - 日本NPOセンター (実吉が理事)
    - 理事として各理事会に概ね出席したほか、「中長期ビジョン」の検討委員、「行政との協働においてNPOが満たすべき『8つの条件』」検討委員を務めた。
  - ひょうごんテック (実吉が運営委員)
    - ・ぼたんの会実行委員会/市民社会推進機構 (CAS) /白いりボン運動実行委員会
- (3) 各種の会議・研究会等への参加
  - ・NPOと行政の協働会議 (兵庫県) /関西の中間支援組織の情報交換会/電通「NPO広報力向上委員会」/日本NPOセンター「NPOキャパシティビルディング委員会」

## 7-2 NPO共同オフィスの運営ならびにみみずく舎の運営協力

### (1) NPO共同オフィス「神戸元町NPOポート」(秋毎ビル3階)運営事業

NPOへの拠点提供という形のNPO支援として、より一層力を入れて運営。6月には「**神戸元町NPOポート**」と命名し(入居団体からの提案)、積極的な広報も行った。「机一つ」の占有スペース貸しに加えて、机2つ分のスペースを5団体で共有する「シェアデスク」も設置した。

07年4月の2団体入居によりようやく採算がとれるようになったが、「1デスク」「シェアデスク」ともまだ若干の空きがあり、もう少し入居率を上げたい。

ビルオーナーの秋毎株式会社には、次項目(みみずく舎)も含めて、多大な協力をいただいている。(有限会社みみずく舎との共同運営)

(入居団体)

チャイルドライン神戸推進委員会	～現在
兵庫県学童保育連絡協議会／神戸市学童保育連絡会	～現在
(特)ドルフィンクラブ	～現在(07.7にて退去)
ひょうご・コミュニティ・ファンド・ネットワーク	～07.3にて退去
(特)DEFC	06.10～現在
(特)メコン・ウォッチ	07.4～現在
(特)緑の森自然キャンプ協会	07.4～現在

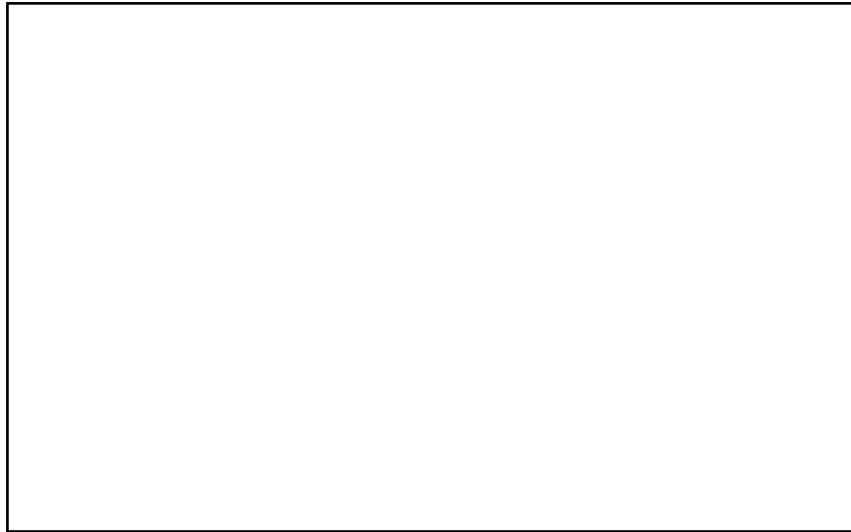


基本の「机一つ」ブース

### (2) 有限会社みみずく舎の業務受託事業

引き続きみみずく舎の事業(カフェ、物販等全般)を受託。みみずく舎の運営はKECにとっても一大事業であり、これを早期に軌道に乗せることがKECにとっても重大な意味を持っている。担当スタッフ(～07/3月1名、07/4月～1.5名)のほか、実吉・八十もバックアップし力を注いだ。

上期に店の本格再開と基盤整備を進め(今井職員=現在フェアトレードショップLiaison経営)、下期にそれをいっそう拡充した(和気職員、4月より+狩野職員)。下期以降、特に4月以降、店の売り上げは伸びてきているが、採算ライン(月商100万円以上)に乗せるにはもう一段の仕掛けが必要か。  
(担当:実吉、八十、今井、和気、狩野)



品揃えも豊富になったみみずく舎

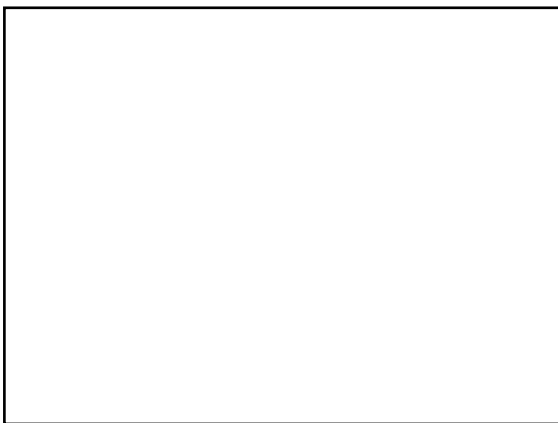
### 7-3 インターン等受け入れ事業

#### (1) 兵庫県・県職員「ボラターン」研修の受け入れ

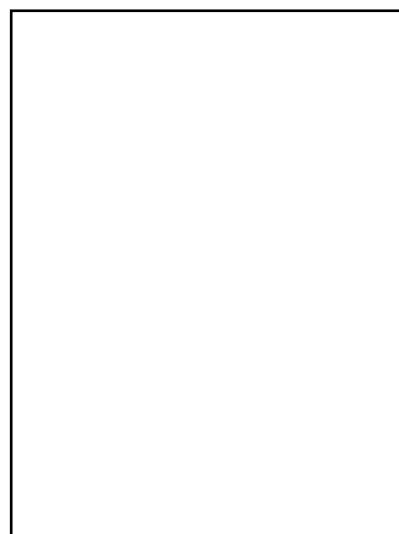
川口奈緒美さん（兵庫県職員）、荒木久子さん（丹波市職員）の2名を、7/25より研修生として受け入れた（各3日間ずつ）。（担当：八十）

### 7-4 能登半島地震被災地支援事業

3月25日に発生した能登半島地震に際し、経済復興の一助にと「Buy 能登, Visit 能登」キャンペーンをみみずく舎と共同で実施。4月に現地訪問し被災事業者らを訪問、各方面のサポートを得てキャンペーンを立ち上げた。みみずく舎での売り上げの10%を被災地に寄付するプロジェクトで、新年度に入った8月3日に、44,492円を「輪島市復興支援ボランティアセンター門前」（輪島市社会福祉協議会門前支所）に寄付した。（担当：和気、実吉）



中島酒造さんは6月にやっと再建を決意したと言う  
(07.4.15)



7割が割れてしまった案山子窯の山田夫妻  
「また焼けばいいよね」とへこたれない

### 3. 組織

#### 1. 会員

(正会員)

期首時点53名 → 期末で54名

(賛助/利用/購読会員)

	2005年度末	2006年度末(うち新規)
賛助/個人	58	14名(4)
賛助/団体	5	6団体(3)
利用/個人	8	4名(2)
利用/団体	17	14団体(7)
購読	39	37名/団体(4)
計	127	75

#### 2. 理事会

2006年7月24日、10月25日、12月18日、4月12日、6月27日に開催。

その合間に運営会議を各1回程度開催した。

#### 3. 新みみずくプラン委員会

2006年5月31日、6月12日、6月24日、7月8日、8月9日に開催。KEC/みみずく舎を含めた今後の方向性・可能性を議論した。(議論は主にみみずく舎の運営方針に集中した)

参加者：磯辺、今田、ウラベ、実吉、島田、諏訪、中田、広瀬、前川大、森田、八十、山下

#### 4. 事務局

前期末から常勤2名(実吉、八十)の体制を非常勤(山崎)、ボランティア(前川大、中田浩、田浦彩、ウラベ、大和田ら)が支えた。7月半ばから主にみみずく舎事業担当として今井を採用、店の本格スタートに貢献してもらったが本業(フェアトレードショップ Liaison)の本格化に伴い12月で退職、入れ替わりに11月末からインターンとして活動に参加していた和氣をみみずく舎担当として採用した(7月から店長)。

さらに2月末からKECの事務担当として山田、4月からみみずく舎担当として狩野を採用し(いずれも非常勤)、週6日営業(2007年4月以降)のみみずく舎もローテーションが組める体制となった。

## Special Thanks to :

秋毎株式会社さま（事務所提供ほかもろもろのご厚意）

元町通6丁目商店街のみなさま

（特）リ・フォープのみなさま

山口真司さん（KEC・みみずく舎ホームページ制作ボランティア）

島田誠さん（菅原洸人、マーチン・ヒューズの絵の無償提供等）

雨森孝悦さん（社会的企業調査事業へのお誘い）

山崎ゆりさん（会計のみならず長年にわたる知恵・話題・おいしいもの♪等のご提供）

中田浩子さん（カフェボランティア）

前川大さん（カフェボランティア）

ウラベノリコさん（カフェボランティア）

田浦彩子さん（カフェボランティア）

大和田信行さん（カフェボランティア）

観城知伽子さん（イベントボランティア）

朝野まどかさん（資料整理ボランティア）

新みみずくプラン委員会ご出席のみなさま

“Buy 能登” キャンペーンに際しアドバイス・情報提供・販売協力くださったみなさま

古本市に本をご寄贈くださったたくさんの方のみなさま

差し入れを持ってきてくださったたくさんの方のみなさま

この一年もみなさまのおかげで事業を行うことができました。

心よりお礼申し上げます。

市民活動センター神戸 理事・会員・職員一同